



愚陀佛庵再建・「坊っちゃん」120周年記念
第72回特別企画展

— 愚陀佛庵から「坊っちゃん」へ —

漱石と松山

令和8年

7月18日(土)～8月31日(月)

休館日：火曜日 ※祝日の場合は翌日

午前9時～午後6時 (展示室入場は午後5時30分まで)

3階特別展示室

観覧料：個人500円 団体400円

65歳以上250円 高校生以下無料

《記念講演》

美と笑いの裂け目で— 漱石文体の出発と〈帝国〉の影

講師：北川扶生子氏 (関西学院大学文学部教授)

8月16日(日) 午後2時～午後3時30分

1階視聴覚室 ※聴講無料

《学芸員の関連講座》

明治の松山と「坊っちゃん」

8月29日(土) 午後2時～午後3時30分

1階視聴覚室 ※聴講無料

《ギャラリートーク》

7月18日(土)、8月15日(土) ※ともに午前10時から50分程度

3階特別展示室 ※聴講には観覧券が必要

松山市立子規記念博物館

Tel.089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園1-30 <https://shiki-museum.com/>

愚陀佛庵再建・「坊っちゃん」120周年記念
第72回特別企画展

漱石と松山

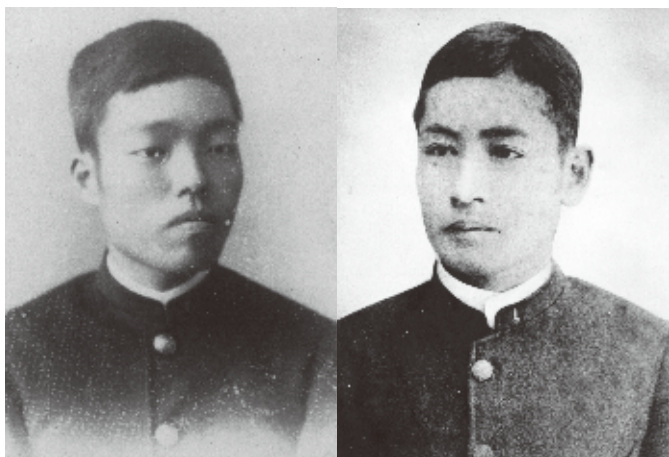
「愚陀佛庵から「坊っちゃん」へ」

今年、夏目漱石と正岡子規が共同生活を送った「愚陀佛庵」が再建され、漱石が明治39（1906）年に小説「坊っちゃん」を発表してから120周年を迎える記念の年です。

明治28年4月、漱石は愛媛県尋常中学校の嘱託教師となります。8月27日からは、漱石は帰省した子規を下宿・愚陀佛庵に呼びよせ、52日間の共同生活を始めました。愚陀佛庵では子規や松風会の俳人らが句会を催し、漱石も「愚陀佛」の俳号で句作に没頭します。文学者・漱石の本格的な俳句創作は、ここ松山から始まりました。

子規没後の明治38年1月、漱石は子規の弟子・高浜虚子の勧めで「吾輩は猫である」を発表し、小説家としてデビューしました。好評だった「猫」に続いて、翌年4月には「坊っちゃん」を発表します。不器用で正直者な江戸っ子の新米教師・坊っちゃんが主人公で、四国の中学校を舞台に個性的な先生や生徒らと奮闘する痛快なストーリーです。今なお多くの人びとに愛読される本作は、漱石の松山での教師生活を題材にしたと言われています。

今回の特別企画展では、松山ゆかりの文豪・夏目漱石を取り上げます。名作「坊っちゃん」誕生の背景にある、漱石と子規の友情や松山との繋がりに改めて迫ります。



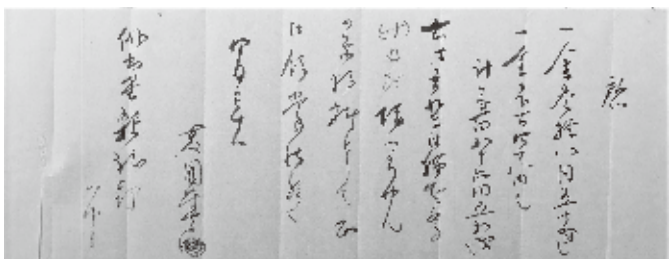
学生時代の漱石と子規



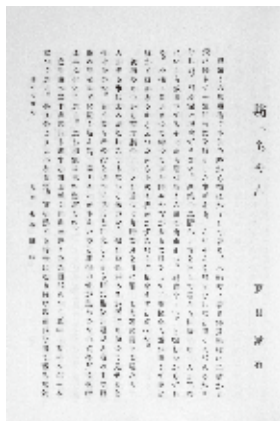
漱石句「わあふちやん」鳥啼て雲に入る



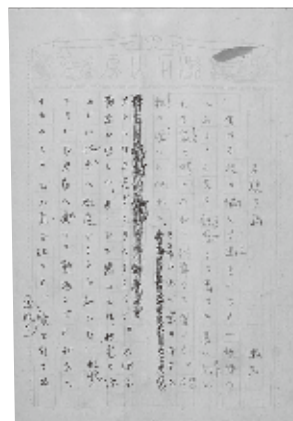
愚陀佛庵2階外観



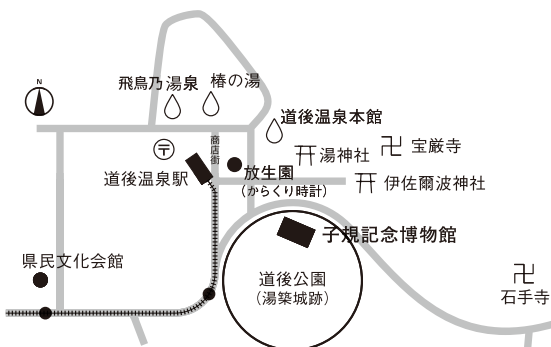
漱石の俳書堂雑誌部あて書簡（明治39年4月30日）〔虚子記念文学館所蔵〕



「坊っちゃん」（『ホトトギス』9巻7号より）



夏目漱石筆「子規の画」〔日本近代文学館所蔵〕



松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園1-30

指定管理者／株式会社レスパスコレーション

<https://shiki-museum.com>

交通案内：道後温泉駅より徒歩5分 道後公園駅より徒歩5分
*公共の交通機関をなるべくご利用ください

